

電波利活用強靱化に向けた周波数創造技術に関する研究開発及び人材育成プログラム

概要

総務省の戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)により、京都大学と連携してワイヤレス分野の中核拠点：電波COE(Center of Excellence)を構築し、電波利活用強靱化技術(柔軟でかつ力強い電波利用を支える技術)に関する5つの先端的研究開発を通じて、セレンディピティ(思わぬものを発見する能力)を持つ意識の高い無線研究者・技術者を育成します。

特徴

- 5つの共同型研究開発を中心に、無線に関する先端的研究と、新しい分野への無線技術の適用を推進しています。
- 京大との連携により、ATRにない教育機能や特殊設備などを補完し、幅広いサポート体制を構築しています。
- 各分野で豊富な実績を持つメンターから様々な角度からの助言をダイレクトに受けることができます。
- 研究目的であることなど一定の条件を満足すれば、大型電波暗室や半導体設計用のCADなど特殊な設備を外部の方々も使用することができます。利用条件や設備の詳細は、下記のWEBでご確認ください。

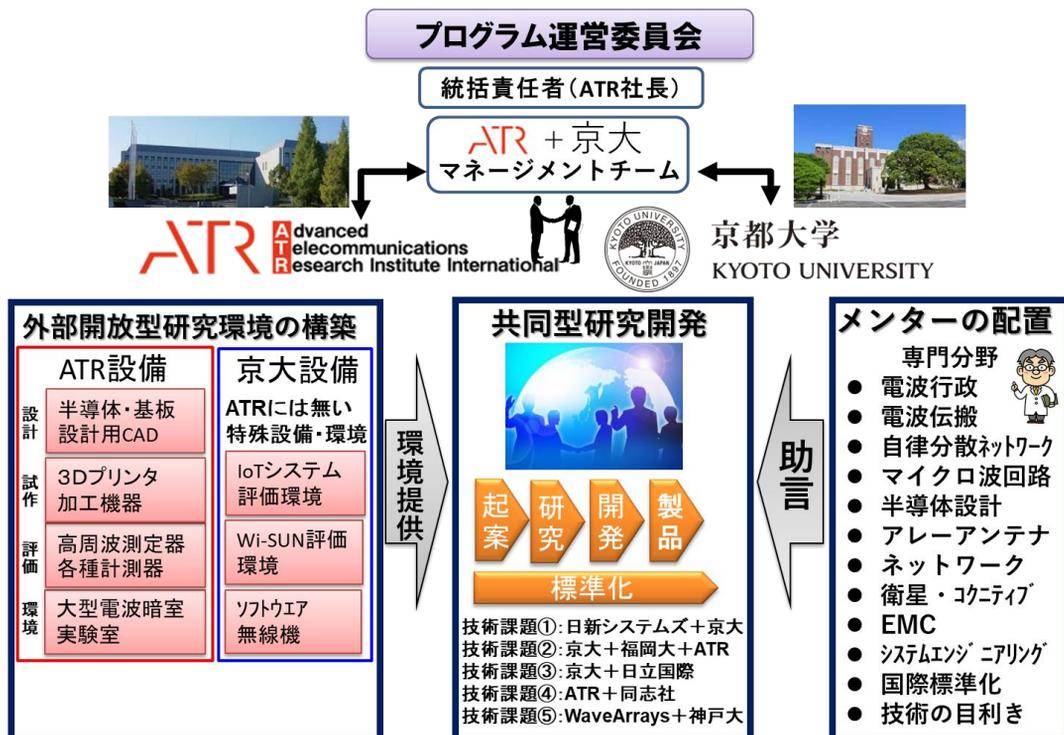
<https://w-coe.jp/>

今後の展開

- 共同型研究開発の成果展開を進めます。また、このアクティビティを広く知っていただき、電波の利用に関する啓蒙活動と、外部開放型研究環境の提供を進めていきます。

対コロナへの関連

- コロナ時代に求められるコンタクトレステクノロジーの一つとして無線の役割は非常に大きいものがあります。例えば、今まで人が確認していたメタの情報を無線で伝送するスマートメタも、人の移動を少なくするという点でコロナ時代に役立つ技術です。非接触・遠隔といった無線の特長を生かした研究開発を推進しています。



連絡先: 波動工学研究所 担当 清水聡、鈴木健太 E-Mail: wel-contact@atr.jp